

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第103回

『「sense of humor」～「運命＝命を運ぶ & 使命＝命を使う」～』

2022年4月3日金城教会（愛知県名古屋市）での『がん哲学外来金城カフェ開設記念講演：「なすべきことをなそうとする愛」～役割意識&使命感～』に赴く（画像1）。この度、金城学院（愛知県名古屋市）の学院長をなされていた、柏木哲夫先生（大阪大学名誉教授・淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）との『使命を生きるということ』（2012年出版 青海社）（画像2）が鮮明に思い出された。

想えば、『2012年5月26日第1回「がん哲学外来—お茶の水メディカルカフェ in OCC」と「お茶の水メディカルカフェ 開設記念講演会」が開催された。「開設記念講演会」は、柏木哲夫先生の「生きること、寄りそうこと」であった。「sense of humor」（新渡戸稲造）の実例であり、「人生の使命」の再認識でもあった。

「運命＝命を運ぶ & 使命＝命を使う」の定義を学んだ。講演会の後、柏木先生と2時間の対談の時間が与えられ、それが契機となって、この本の出版の運びとなった。』であった。本の【目次】は、下記の如くである。

医療の主流と本流—「まえがき」に代えて 柏木哲夫
ホスピス医としての使命 エッセイ1 柏木哲夫
「がん哲学外来」の原風景 エッセイ2 樋野興夫
ホスピスケアの原点にたつて エッセイ3 柏木哲夫
だれから、いかにして、学ぶか エッセイ4 樋野興夫
出会いで変わる人生 ダイアログ1
支える・寄り添う・背負うケア エッセイ5 柏木哲夫
医療の隙間を埋める エッセイ6 樋野興夫
根っこでの人と人のつながり ダイアログ2
人生を考える エッセイ7 柏木哲夫
「がん哲学外来」の使命 エッセイ8 樋野興夫
よき生と死のための使命 ダイアログ3
「あとがき」…恩師 菅野晴夫先生に捧ぐ 樋野興夫

まさに、丁度、10年前で、不思議な時の流れを痛感する日々である。

がん哲学外来金城カフェ開設記念

樋野興夫先生講演

「なすべきことをなそうとする愛」

～役割意識&使命感～

がん哲学外来は、がんと共に生きる方々の心に寄り添うために、2008年、樋野興夫先生によって開設されました。対話を通し、がんをいかに受け入れ、がんと共にいかに生きていくか、その人らしい生き方を探していきます。カフェはお茶を飲みながら自由に語り合い、心の荷をおろす場です。仲間と一緒に話してみませんか？新しい未来が見えるかもしれません。がん患者さんだけでなく、どなたでもご参加ください。お待ちしております。

日時：2022年 4月3日(日)

I部：講演 13:30～14:30

II部：先生を囲んで 14:50～16:00

会場：日本キリスト教団金城教会

参加費：無料 申込み：不要



樋野興夫(ひの・おきお)先生
プロフィール

医学博士。順天堂大学名誉教授、恵泉女学園理事長、新渡戸稲造記念センター長、一般社団法人がん哲学外来理事長など。



地下鉄 桜通線「車道駅」・東山線「新栄町駅」
いずれも1番出口より徒歩10分
※駐車スペースがありませんのでお車での来場はご遠慮下さい

お問合せ kinjotk@aurora.ocn.ne.jp

Tel 936-9090



この講演はYou Tube 配信されます。
感染状況によっては You Tube 配信のみ、または中止になることがあります。
金城教会ホームページでお確かめください。

後援 一般社団法人がん哲学外来

使命を 生きる ということ

真のホスピス緩和ケアと
がん哲学外来からのメッセージ

Yetsuo KASHIWAGI
Okio HINO
柏木哲夫 十樋野興夫



MISSION^(使命)
としての人生を
感じるとき

日常での新しい出会い、
気づきを心や体の細胞で感じる。
私たちはいつも今、
生まれたての
いのちの風の中にいる。

青海社